

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和8年2月15日(日)

令和8年2月15日(日)付南日本新聞11面に「営農の門出を励ます会」「女子バレー部へ米寄贈」の記事が掲載されましたので、紹介します。

営農予定の3年生 新天地で飛躍誓う

薩摩中央高

農林業関連の学校や企業に進む卒業予定者を祝う「営農の門出を励ます会」が12日、さつま町虎居の薩摩中央高校であった。生物生産科と農業工学科の3年生7人が新天地での抱負を語り、在校生らが激励した。就職は海野夢大さん、角井にこらさん、久保拓己さん、前田来夢さん、森園海琉さん、県立農業大学校への進学が川口映美さん、松井悠太さん。7人は牛の世話や資格取得に励んだ高校生活を振り返り、「早く一人前になる」と新たな担い手として飛躍を誓った。健闘を祈って最後に地元産のお茶で乾杯。両親が畜

新天地での飛躍を誓う卒業予定者。さつま町虎居の薩摩中央高校



産業を営む松井さんは「知識と技術を磨いて最終的には後を継ぎ、規模を拡大させたい」と話した。

(山田天真)

◆薩摩中央高校女子バレー部に米寄贈 さつま町のJA北さつまが、県高校新人大会で準優勝した地元の同バレー部に町内産の米25kg、キンカン9kg、イチゴ6kgを贈った。チームの活躍が地域に活力を生み出しているとして、さらなる飛躍を期待して5日に寄贈した。寮生活の部員も多いため、寮の食材などとして使う。大町あづみ主将は「地元の農産物をたくさん食べ、少しでもいい成績を収め

て恩返ししたい」と感謝した。

